

4月に入って暑くなるかと思いましたが予想外に涼しい日が続きました。去年よりも明らかに気温は低く、これも気候変動の影響によるものか分かりませんが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

ラマダンがようやく明けました。ラマダン期間中セネガルの方々は生活はいつも通りだと言っていました。明らかに社会活動は抑えぎみになり、当館としても大きな行事等は特にありませんでした。当館の現地職員も日中は何も飲まず食わずで厳格にラマダンを励行していました。先般の独立記念日パレードの際も、去年は外交団に水が配られたのですが今年はそれもなく、暑い中での長時間のパレード観戦はのどが乾いて大変でしたが、行進する子供達を見て大人の自分が弱音を吐くわけにはいかないと気を引き締めました。今更ながらですが、ラマダン中イスラム教徒の方々は大変な苦勞をされていると思いました。でもラマダンは彼らの生活の一部であり、このような本使の考えは余計なお世話なのかもしれません。

皆様ご承知のとおり、大使館は日・セネガルの人々の交流拡大を活動の大きな柱のひとつと考えており、多くのセネガル人に日本を訪問してもらいたいと考えています。交流の拡大には相互理解の増進が必要ですが、ラマダンの件をとっても留学等で訪日したセネガル人がイスラム理解の乏しい日本で苦勞されているのではないかと気になる時もあります。交流の拡大を進めていく上でイスラム教に馴染みのない日本社会がイスラム教に対する理解をどのように深めて行くか、なかなか難しい問題だと思います。

4月に入り新年度が始まったので大使館の今年度の活動計画を検討しました。様々な恒例行事がありますので、その実施時期を検討するために大まかな日程を考えた次第です。特に今年度は、来年2月に予定されている大統領選挙の関係で年が明ければセネガルの政治的な事情から大きなイベントを行うことが難しくなることが予想されます。したがって天皇誕生日レセプションなどは可能な限り前倒しして行うこととしました。

それ以外にも昨年の経験から、夏の雨期は大きなイベントには適していないことがわかりましたし、イスラム教徒が大半でも、クリスマスはみなさん休暇に入ります。そう考えると今年度において大使館として積極的に活動できる時期は、雨期前の5～6月、そして雨期が明ける10月後半～年末にかけてであり、かなり限られていることが分かります。大使館はこの二つの時期を中心に様々な行事を組んで行くこととなりますので、皆様に参考までに予めお伝えしておきます。

最後に、先日、「バオバブ」という日本のモダンダンスグループが、先週トウバブ・ジャラウで開催されたフェスティバルに参加するためセネガルを訪問されました。日本からのこうした芸術家の来訪は珍しいので、お願いして本使公邸で公演を行って頂きました。セネガル人芸術関係者への紹介が中心だったため、邦人の方々にお声がけできませんでしたが、若いダンサーの方々がすばらしいパフォーマンスを披露していました。バオバブというグループ名の由来については、アフリカにおいてバオバブの木が村の人々が集う所、コミュニティの中心になっていると聞き、自分達もそのような芸術家が集う場所として活動したいという思いで名前をつけられたそうです。その話を聞いて本使としても共感し、私たち大使館の活動もこのように日本人とセネガル人の集うところとなるような場となるべく、引き続きがんばっていきたいと思います。